

## 令和3年度全国学力・学習状況調査から

※結果分析(○できている ●できていない)

## 〈学力調査〉

## 【国語】

- 文脈に即して漢字を正しく読むなど、言語についての知識・理解に関する問題はよくできている。
- 話し合いの場面で、話題の方向や質問の意図を捉えるなど、「話す・聞く能力」に関する問題はよくできている。
- 語句や文の使い方・段落相互の関係に注意して書くこと、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、それに対しての自分の考えを書くことなど読む能力・書く能力に関する問題が弱く、改善・向上が必要である。

## 【数学】

- 文字の計算や中央値を求めることなど、数学的な技能に関する問題はよくできている。
- 与えられた表やグラフから必要な情報を読み取り数値で表すことができるなど、数量についての知識・理解に関する問題はよくできている。
- 事象を数学的に解釈したり、事柄の特徴を数学的に説明したりすることが弱く、改善・向上が必要である。
- 図形の性質を見だし、それを数学的な表現を用いて説明することが弱く、改善・向上が必要である。

## 〈学習状況調査〉

- 国語・数学などの勉強は大切だと思い、将来社会に出たときに役に立つと考えている生徒が多く、「好きですか」との問いにも肯定的な回答が多くあった。
- 地域の行事に参加している生徒が多く、地域や社会をよりよくしたいと考えている生徒も半数以上いる。
- 平日や休日に1時間以上家庭学習に取り組んでいる生徒が全国・県の平均より少ない。また、平日に2時間以上ゲーム(コンピューターゲーム、スマートフォン、携帯式のゲーム等のゲームも含む)をしている生徒が半数以上いるなど、時間の使い方に課題が見られる。

## ※学校としての対応・目標

- ・すべての設問において無回答の生徒の割合が少なく、前向きに取り組もうとしている姿勢がうかがえます。この生徒の姿勢や意欲を大切にしながら課題を克服し、学力の定着につながるよう取組を進めます。
- ・国語や数学では、自分の考えや思いを表現する練習を多く取り入れるようにし、生徒の苦手な分野に関する改善を図ります。
- ・生徒の課題に対する困り感を教職員が理解し、課題の出し方や提出の仕方などの工夫をするなど、困り感の軽減に努めます。

以上のような学校の指導意図を御理解いただき、御家庭でも御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。